あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM　'89 6月号

体験学習＝草木で染めよう

時には男の方の参加もある人気講座です。

身近な草・木の葉や枝など、植物を利用した染色法で、さかのぼれば弥生後期にはすでにあったといいますから、かなり古くからのものです。

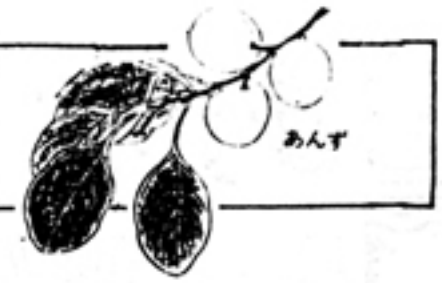
化学染料とちがい、多種の色素やタンニンなどが作用して布を染めるので、染め上った色合いは退色したり変色しても、かえって味合いになる深さを持っています。学習では１回目に色見本を作り、２回目に各自が持ちよったものを染めます。

洗って、千切って、煮て漉して、浸して、ハイ出来上りの染色工程を、参加した方には再確認のために、関心のある方にはお誘いの意をかねて、紹介します。

山崎青樹　著

〝月刊たくさんのふしぎ〟〝草木染・糸染の基本〟より転写

草木染めー染色工程早わかりー



⊙準備するもの

- 染色のための材料集め：汚れをとった木の葉、草、花／紅茶、カレー粉も可
- 媒染剤：明ばん（焼き明ばん）／鍋／鉄
- 染め布：絹、毛糸／木綿（汚れはおとしておくこと）
- 染めの道具：大きくてさびないもの：大鍋（ホーロー、ガラスなど）
  ザル、ポリ容器／箸
  ：前掛け、ゴム手袋

⊙工程早わかり

木　綿	染　色　工　程			絹
• 木綿は牛乳につけてから干しておくこと	①	染材を煎じる	細かくちぎって、水から煎じ２０分沸騰させる	• 絹はそのままつかえる
	②	ザルでこす	染液をとる　ザルの染材を再煎して、好みの色を出す 緑草は２回／幹や枝は８回ぐらい／乾してあるものは４回くらいまでとれる	• 絹は後媒染 煮染めのあと媒染液につける
• 木綿は先媒染 煮染めの前に布を明ばん液につけておく	③	染液を混ぜる		
	④	煮染め	１０～１５分	
	⑤	かるく絞る	※ヤケドに注意！	
	⑥	媒染剤につける	ここで発色する	
• 木綿は⑦不用 ④⑤⑥のくりかえし	⑦	水洗い		
	⑧	再び煮染め	好みの色が出るまで④⑤⑥⑦をくりかえす	
	⑨	水洗い	最後の煮染めをしたら⑥は不用	
	⑩	干す	出来上り	

みんなで調べよう
＂セミのぬけがら調べ＂

7月1日～9月16日毎土曜日

7月の声を聞くと、ニイニイゼミが鳴き始め、セミの季節がやって来ます。数年の幼虫時代を地下で過ごしたセミは、夏の夕方、地上に顔を出し、木や草の上で羽化して成虫になります。その時に残すのが、皆さんおなじみの＜セミのぬけがら＞です。

ぬけがらは私たちにいろいろなことを教えてくれます。例えば……

- その場所でどの種類のセミが羽化したか。
- 種類によって羽化する季節に違いがあるか。
- セミのオスとメスではどちらが多いか。
- オスとメスではどちらが早く羽化するのか。
- 羽化するにはどんな場所が選ばれるか。

博物館では以前に多くの小中学生の協力で市内全体からたくさんのぬけがらを集めたことがあります。その資料を整理したところ、市街地ではアブラゼミが圧倒的に多いこと、神社の森にはセミの種類が多いことなど、興味深いことがいろいろ分かりました。

今年はその調査をさらに発展させ、いつ頃どの種類が羽化してくるかという季節変化を調べてみようと考えました。多くの方の参加をお待ちします。

⊙お気付きですか
タイトルが変りました

毎月1回発行している「はくぶつかん」のタイトルを「あなたと博物館」に変えました。

昭和51年5月に開館して以来、各分野の行事案内や特別展の紹介、新しく収集した資料の紹介など情報をお届けしてきました。

新しいタイトルは博物館が「生涯学習の施設」「コミュニティーの施設」として「市民の生活にもっと近付きたい」という願いを込めています。

内容その他にご意見、お気付きの点がございましたらどうぞお寄せ下さい。

尚、個人で毎月ご希望の方には郵送料を頂いた上で直接お送りもしておりますので、ご連絡を下さい。

＊＊＊＊行事案内＊＊＊＊

6月

10	土	古文書講読会／石仏を調べる会／ナチュラリスト講座"アリの結婚飛行"
11	日	体験学習"裏打ち"
17	土	天体観察会"望遠鏡を使って"
18	日	"平塚の空襲と戦災を記録する会"ガイダンス
24	土	古文書講読会
25	日	相模川を歩く会

・寄贈品コーナー：学童発掘
（6月9日～7月30日）

・プラネタリウム：四季の星座
（5月6日～7月16日）

さそり座

7月

1	土	土曜観察会
8	土	古文書講読会／土曜観察会／ナチュラリスト講座"神奈川の鳴く虫"／石仏を調べる会
16	日	平塚の空襲と戦災を記録する会例会
20	木	夏休み特別展〝野鳥入門〟
22	土	古文書講読会／石仏を調べる会／土曜観察会
23	日	自然観察会"大山モミ林"
25	日	自由研究相談会／サマーセミナーガイダンス
26～27		天体観察会"スターウオッチング"
30	日	相模川を歩く会まとめ

・みんなで調べよう〝セミのぬけがら調べ〟
7月8日～9月16日毎土曜日

・特別展講演会〝鳥の歌・鳥の声〟
7月20日～8月30日

・プラネタリウム：はくちょう座物語
7月22日～9月3日

●サマーセミナー参加者募集

2泊3日で、市内土屋地区の自然や歴史、人々の暮しの姿について、いくつかのテーマで学習します。

期日：8月8日(火)～8月10日(木)2泊3日
会場：七国荘（平塚市土屋）
募集人員：小学校5年生～中学3年生までの男女計30名（申し込み多数の場合は抽選します）
申し込み：案内書を見て申し込んでください。案内書は博物館受付で配布、または62円切手を同封して申し込んでください。
応募締切：7月12日（必着）

●みんなで調べよう〝セミのぬけがら調べ〟

一定のコースを歩いてぬけがらを集め、分類や整理をします。

日　：7月8日～9月16日　毎土曜日
時間：午後2時～4時
場所：高麗山～浅間山
申込み：6月30日までに往復ハガキで。
※土曜観察会の参加者は申込みはいりません。

あなたと博物館
Vol.13　No.3　通巻154号　印刷　平塚市総務部総務課文書係　○3,500
発行　平塚市博物館　〒254 平塚市浅間町12－41　Tel. 33－5111